

平成21年度

病害虫情報(第10号) 3月予報

平成22年2月26日
神奈川県農業技術センター所長

農薬を使用する際は、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。
掲載農薬は一般的な場合を想定し、防除効果を優先して選定しています。
収穫期の作物が近接している場合など、個別に残留基準値の設定状況を考慮する
必要がある場合は関係機関にご相談ください。

【内 容】

I 3月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点 1
II 防除情報 コナガ対策はローテーション防除の徹底を..... 4
III 3月の病害虫発生予報の内容とその根拠 5
IV 3月の気象予報及び気象の経過 7

病害虫防除部 TEL 0463-58-0333
テレフォンサービス TEL 0463-58-6612
インターネット <http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp>

I 3月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

※ [防除要否] ◎:追加防除が必要 ○:通常防除 △:必要に応じて防除 ×:防除の必要なし
[発生・防除時期] ——— 発生時期 ~~~~ 多発時期感染時期 ←——→ 防除適期

* 農薬に関する情報は、平成22年2月18日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

作物名	病害虫名	発生 予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				3月			4月		
				上	中	下	上		
カンキツ	ミカンハダニ	—	○	越冬				マシン油乳剤 (97%, 98%)	・マシン油乳剤は商品によって使用基準が異なるので、各商品の記載に従い使用する。
ウメ	かいよう病	—	○	 感染期			(萌芽前) Zボルドー [葉芽発芽前まで, -] 500倍 +クレフノン [-, -] 200倍 (萌芽後) マイコシールド [21日, 4回] 1,500倍 等	・多発園では、早期から予防散布を行う。 強風雨時に感染するので、降雨前の散布を心掛ける。
	アブラムシ類	—	○					スミチオン乳剤 [14日, 2回] 1,000~2,000倍 チェス顆粒水和剤 [21日, 2回] 5,000倍 等	
チャ	もち病	やや多	○		 感染期		ドイツボルドーA [14日, -] 500倍 等	・前年の多発園では必ず散布する。
	カンザワハダニ	やや多	○	越冬				(萌芽前) オマイト乳剤 [14日, 2回] 1,500~2,000倍 (萌芽後) バロックフロアブル [14日, 1回] 1,000~3,000倍 等	・初期防除に重点をおく。 ・オマイトの萌芽期~展葉期散布は葉害を生じるので使用しない。

病害虫情報

(H21・No. 10)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				3月			4月		
				上	中	下	上		
促成キユウ	べと病	やや多	○	←→	←→	~~~~	~~~~	(予・治)ハチハチ乳剤 [前日, 2回] 1,000倍 (予)ダコニール1000 [前日, 8回] 1,000倍 (予・治)ランマンフロアブル [前日, 4回] 1,000~2,000倍 等	・過湿になると多発する恐れがあるため注意する。午後はできるだけ換気に努める。 ・ダコニールは灰色かび病、褐斑病にも適用あり。
	うどんこ病	やや少	○	←→	←→	~~~~	~~~~	(予)フルピカフロアブル [前日, 4回] 2,000~3,000倍 (予・治)ハチハチ乳剤 [前日, 2回] 1,000倍 (予)インプレッション水和剤 [発病前~発病初期, -] 500~1,000倍 (予)ダコニール1000 [前日, 8回] 1,000倍 等	・乾燥はうどんこ病の発生を助長する。 ・フルピカは灰色かび病、褐斑病にも適用あり。 ・インプレッションは灰色かび病にも適用あり。
	アザミウマ類 コナジラミ類 アブラムシ類	並 やや多 並	○ ○ ○	←→	←→			コテツフロアブル [前日, 2回] ミカンキイロアザミウマ、ミナキイロアザミウマ: 2,000倍 ハチハチ乳剤 [前日, 2回] 1,000~2,000倍 コロマイト乳剤 [前日, 2回] コナジラミ類: 1,500倍 等	・コテツはハダニ類にも適用あり。 ・コロマイトはハダニ類(1,000~1,500倍)、トマハメグリハエ(1,000倍)にも適用あり。
促成マト	灰色かび病 葉かび病	並 並	○ ○	←→	←→	~~~~	~~~~	(予)ボトキラー水和剤 [発病前~発病初期, -] 灰色かび病: 散布 1,000倍 ダケ外投入 10~15g/10a/日 (予・治)ポリオキシシンAL水和剤 [前日, 3回] 灰色かび病: 500倍、葉かび病: 1,000倍 (予・治)カンタスドライフロアブル [前日, 3回] 1,000~1,500倍 (予・治)カリグリーン [前日, -] 800倍 等	・カンタスは菌核病にも適用あり。 ・カリグリーンは展着剤を必ず加用する。 うどんこ病(800~1,000倍)にも適用あり。 ・マルハナバチへの影響 ボトキラー: 無、ポリオキシシンAL: 無 カンタス: 無、カリグリーン: 少
	コナジラミ類 (オナジラミ) (オナジラミ)	並 やや少	○	←→	←→			バリアード顆粒水和剤 [前日, 3回] 2,000~4,000倍 エコピタ液剤 [前日, -] 100倍 マッチ乳剤 [前日, 4回] 2,000倍 ウララDF [前日, 3回] 2,000倍 等	・バリアードはアブラムシ類にも適用あり。 ・エコピタはアブラムシ類、うどんこ病にも適用あり。 ・マッチはハメグリハエ類(1,000倍)、トマハメグリハエ(2,000倍)にも適用あり。 ・ウララはアブラムシ類(2,000~4,000倍)にも適用あり。 ・マルハナバチへの影響 バリアード: 少、エコピタ: 少 マッチ: 1日、ウララ: ほとんど無

病害虫情報

(H21・No. 10)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生 予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				3月			4月		
				上	中	下	上		
促成イチゴ	灰色かび病 うどんこ病	並多	○ ◎	←→	~~~~~ ←→	~~~~~ ~~~~~	~~~~~ ←→	(予)インプレッション水和剤 [発病前～発病初期, -] 500～1,000倍 (予)ボトキラー水和剤 [発病前～発病初期, -:ダケ内投入] 灰色かび病: 10～15g/10a/日 (予・治)パンチョTF顆粒水和剤 [前日, 2回] うどんこ病: 2,000倍 (治)エコピタ液剤 [前日, -] うどんこ病: 100倍 (予)セイビアーフロアブル20 [前日, 3回] 灰色かび病: 1,000～1,500倍 (予・治)カンタスドライフロアブル [前日, 3回] 灰色かび病: 1,000～1,500倍等	・パンチョTFはトリフルミズールを含む混合剤であるので、トリフミンとの総使用回数に注意する。 ・ミツバチへの影響 インプレッション: 翌日 ボトキラー: 無、パンチョTF: 無 エコピタ: 少、セイビアー: ほとんど無 カンタス: 無
	コナツラムシ類 アブラムシ類	多 やや多	○ ○	←→	~~~~~ ←→	~~~~~ ~~~~~	~~~~~ ←→	バリアード顆粒水和剤 [前日, 3回] コナツラムシ類: 2,000倍、アブラムシ類: 2,000～4,000倍 チェス顆粒水和剤 [前日, 3回] 5,000倍 エコピタ液剤 [前日, -] 100倍等	・ミツバチへの影響 バリアード: 少、チェス: 無 エコピタ: 少
	アサミウマ類	やや多	○	←→	~~~~~ ←→	~~~~~ ~~~~~	~~~~~ ←→	スピノエース顆粒水和剤 [前日, 2回] 5,000倍 マッチ乳剤 [前日, 4回] ミソキイロアザミマ: 1,000～2,000倍等	・ミツバチへの影響は スピノエース: 2日、マッチ: 1日
	ハダニ類	やや多	○	←→	~~~~~ ←→	~~~~~ ~~~~~	~~~~~ ←→	マイトコーネフロアブル [前日, 2回] 1,000倍 カネマイトフロアブル [前日, 1回] 1,000～1,500倍 エコピタ液剤 [前日, -] ナミハダニ: 100倍等	・ミツバチへの影響 マイトコーネ: 少、カネマイト: 少 エコピタ: 少
春キヤベツ	灰色かび病	並	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	・今後の気象条件次第では発生が増加する可能性がある。発病株は、見つけ次第早めに除去する。	
	菌核病	並	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予)セイビアーフロアブル20 [3日, 3回] 1,000倍 (予・治)ロブラール水和剤 [7日, 4回] 1,000倍 (予・治)カンタスドライフロアブル [7日, 2回] 1,500倍等	・雨天が多い場合には、予防に努める。 ・発病株は早期に抜き取り、ほ場外で処分する。 ・セイビアーは株腐病にも適用あり。
	コナガ	並	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	アフーム乳剤 [7日, 3回] 1,000～2,000倍 コテツフロアブル [3日, 2回] 2,000倍 ゼンターリ顆粒水和剤 [発生初期(但し、前日), -] 1,000～2,000倍等	

Ⅱ 防除情報 コナガ対策はローテーション防除の徹底を ～ 春キャベツにおける防除体系 ～

インターネット <http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp>
 テレフォンサービス 0463-58-6612

コナガの防除では抵抗性が発達しないように、同一薬剤の連用を避けてローテーション防除を心掛けてください。平成21年度に病虫害防除部が薬剤の効果を試験したところ、表1の8剤とも安定した高い殺虫効果を示していました。この結果を基に作成したローテーション防除例を図1に示しますので参考にしてください。

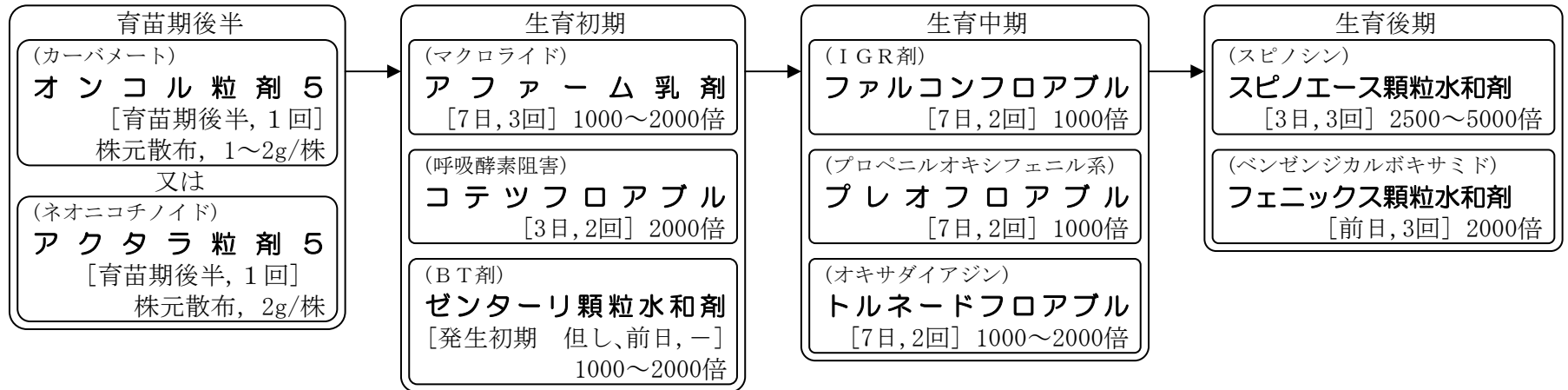


図1 春キャベツにおけるローテーション防除例

表1 コナガの薬剤効果試験結果

		三浦市		横浜市		秦野市 堀山下
		下宮田	金田	瀬谷	上飯田	
スピノエース顆粒水和剤	(5000倍)	◎	◎	◎	◎	◎
アフーム乳剤	(2000倍)	◎	◎	◎	◎	◎
コテツフロアブル	(2000倍)	◎	◎	◎	◎	◎
ゼンターリ顆粒水和剤	(2000倍)	◎	◎	◎	◎	◎
フェニックス顆粒水和剤	(2000倍)	◎	◎	◎	◎	◎
プレオフロアブル	(1000倍)	◎*1	◎	◎	◎*1	◎
ファルコンフロアブル	(1000倍)	○	◎*1	◎*1	◎*1	◎
トルネードフロアブル	(1000倍)	◎*1	○	◎	◎*1	◎

◎ : 72時間後の補正死虫率100% ◎*1 : 72時間以降の補正死虫率100%

○ : 7日以降の補正死虫率85%以上



Ⅲ 3月の病害虫発生予報の内容とその根拠

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
チャ もち病	少	やや多	1) 前年9月の発生が平年よりやや多かったため、菌密度はやや多いと予想される。(+) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
カンザワハダニ	少	やや多	1) 前年9月の発生は平年よりやや多かった。(+) 2) 冬期間の気温は平年より高く、降水量は多かった。(±) 3) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
促成キュウリ べと病	少	やや多	1) 巡回調査では、一部で発生が見られ平年より多い。(+) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
うどんこ病	少	やや少	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(±)
コナジラミ類	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が一部で散見され平年よりやや多い。(+) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
シキイロアザミマ	少	並	1) 巡回調査では、発生が見られず平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
アブラムシ類	少	並	1) 巡回調査では、発生が見られず平年並。(±) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
促成トマト 灰色かび病	少	並	1) 巡回調査では、発生は平年より少ない。(－) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
葉かび病	少	並	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
オシツコジラミ	少	やや少	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
カコナジラミ	少	並	1) 巡回調査では、過去4年平均値と同等。(±) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
ハモグリバエ類	少	並	1) 巡回調査では、発生は平年並。(±) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
促成イチゴ 灰色かび病	少	並	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
うどんこ病	中	多	1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(+) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(±)
アブラムシ類	少	やや多	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや多い。(+) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	年比	
促成イチゴ アザミウマ類	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(+) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
コナジラミ類	中	多	1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(+) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
ハダニ類	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(+) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
春キャベツ 灰色かび病	少	並	1) 横須賀・三浦地区の巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 早春キャベツでの発生は、平年よりやや多かった。(+) 3) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
菌核病	少	並	1) 横須賀・三浦地区の巡回調査では、発生が見られず平年並。(±) 2) 早春キャベツでの発生は、平年並だった。(±) 3) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)
コナガ	少	並	1) 横須賀・三浦地区の巡回調査では、発生が平年より少ない。(－) 2) 冬ダイコンでの発生は、平年よりやや多い。(+) 3) フェロモントラップへの誘殺数は、横浜は平年並(±)、三浦は平年より少ない(－)。 4) 気温は平年より高く、降水量は平年並または多い予報。(+)

(注) 「発生量」の表示…

程度：甚>多>中>少>無

年比：多>やや多>並>やや少>少

「予報の根拠」……

(+)：多発要因 (－)：少発要因

IV 3月の気象予報 (気象庁 地球環境・海洋部 2月25日発表 3か月予報)

〈天 気〉

天気は、数日の周期で変わるでしょう。平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

〈気温、降水量の各階級の確率 (%)〉

	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気 温	10%	30%	60%
降 水 量	20%	40%	40%

〈気象の経過〉 [観測地 横浜地方気象台]

2月第4半旬まで

気温は、1, 3, 4半旬は平年より低く、2半旬は平年より高かった。

降水量は、1, 3半旬は平年より多く、2, 4半旬は平年より少なかった。

日照時間は、1, 2, 4半旬は平年並、3半旬は平年より少なかった。

